


みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

大阪府北部地震 6月18日(月) 午前7時58分発生 都市直下型 M(マグニチュード) 6.1 (最大震度6弱)

6月18日(月) 午前7時58分ごろ大阪府北部を震源とした地震、マグニチュード6.1(最大震度6弱)が発生。6/25現在の被害状況は、死者4名、負傷者428名、住宅被害約22,000棟。ブロック塀にも要注意。

その時、佐賀県では↓

「安否確認システム」で避難の心構え発信
くもしもの時の備えはできていますか> 

大阪聴覚障害者協会のHPによると、協会の安否確認(6月19日15:35現在)では、会員に大きな怪我などはなく、停電・断水・エレベーターの停止・家の外壁の亀裂等の被害があったとことです。なお、大阪府の支援の連絡先が電話番号のみであったことを指摘、FAX番号・メールアドレスが追記されました。



【本文】6月18日(日) 午前7時58分ごろ大阪府北部を震源とした地震(最大震度6弱)が発生。震源付近は大小さまざまな活断層が入り乱れており、1596年に発生した慶長伏見地震(マグニチュード7.5)を起こした有馬-高槻断層帯も近くに存在しています。豊臣秀吉の時代から500年経って断層が動いたのです。(中略)

佐賀県には「佐賀平野北縁断層帯」という活断層が、多久市から福岡県久留米市にかけて(約38km)存在しており、マグニチュード7.5、最大震度7の地震を起こす恐れがあるとされています。佐賀市では地震ハザードマップを作って警告を発しています。

また、これからは梅雨最盛期となり大雨や台風特に注意が必要な季節です。昨年7月5日には福岡県朝倉地方で豪雨による大きな被害がありました。日頃から「人命第一」で災害への心構えをもって、もしもの時に備えておくことが大切です。

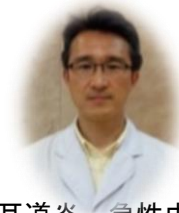
肥前さが幕末維新博覧会 アンケート結果 一層の改善を要望

- 6月30日(土)に27名の聴覚障害者とサークル関係者が観覧しました。アンケートでは、
- ・手話通訳者の手話が暗くて見えない。
 - ・手話通訳者にスポットライトをあててほしい(大牟田市石炭産業科学館では手話通訳を照らす常設のスポットライト、移動時に持ち運び可能なスポットライトを使用していた。)
 - ・次室へ移動する際に「次に進んでください」という文字を出してほしい。
 - ・字幕設置位置を上部にすると見やすくしてほしい。
 - ・個人で来館した場合のために手話通訳者の常駐はできないか。
 - ・パネルによる説明がなく詳しく知ることができなかった。等がありました。

会期は2019年
1月14日まで

シリーズ(8)

山口相談医のひと言コメント 「難聴の原因について」



難聴には、色々な状況があります。単に耳あかが詰まっているだけ、ということから、遺伝子の異常によるものまで様々です。大きくは、**伝音性難聴**、**感音性難聴**、**混合性難聴**に分けられます。

伝音性難聴とは、音の伝わりが悪くなることで生じる難聴です。耳あかがあるとか、外耳道炎、急性中耳炎や、鼓膜穿孔（慢性中耳炎や中耳真珠腫）や、鼓膜の内側に液体が溜まる（滲出性中耳炎）といったことが原因です。治療によって聴力の回復が期待できる状態です。

感音性難聴は、聞こえの神経の働きが悪くなった状態です。突発性難聴といった病気や、ウイルスによる内耳(蝸牛)の障害、老化による難聴などがあります。これらの多くは一旦悪くなると回復が難しいと考えられています。(その中で突発性難聴は治療による改善が期待できると考えられます。)今後の治療方法の研究が望まれる分野です。

伝音性と感音性の両方の要素がある場合を**混合性難聴**と呼びます。急性中耳炎があるために伝音性難聴が生じることがよくありますが、これがひどくなって、内耳にまで炎症が及ぶと感音性難聴も生じてきます。あるいは、ご年配の方で、鼓膜穿孔のため伝音性難聴がある上に、年齢による感音性難聴が生じる、といった状況です。感音性難聴の部分は治療が難しいことが多ですが、伝音性難聴の要素は治療で改善できることもあります。

新作字幕付郷土佐賀シリーズ

7月から公開するお勧めの字幕付DVD

◎ウェルカム玄海町07 浜野浦の棚田が一番輝く日

夕日の沈む様が水田に写る様子は死ぬまでに見たい世界の絶景に選ばれています。



(唐津市のHPより)

◎見れば頭がよくなるムービー

多久市の景観や論語、食べものが脳の活性化に役立つことを脳科学者茂木健一郎さんが太鼓判を押されています。

◎ふるさと笑がお、大町町

大町戻ろう懐かしい笑顔。歩けば好きになる大町。Uターンにお勧めのDVDです。

巡回聴こえの相談 in 伊万里

6月26日(火)、伊万里市役所で行い、10名が測定と相談をされ、特に10人中4人が耳鳴りに悩まされていました。耳鼻科受診や補聴器の装用などをお勧めしました。

みみサポーター養成講座

全3回(6月9日、23日、7月14日)

加齢性難聴の特徴、聴こえの仕組み、難聴者の心理、補聴器の構造と機能などについて、体験を交え、介護士、保健師、難聴学級担任など8名が受講。

巡回聴こえの相談(7月~9月)

7月25日(水) 佐賀市役所三瀬支所

8月2日(木) 唐津市馬渡島診療所

9月26日(水) 基山町役場

要予約

山口先生による医師相談(7月、8月)

7月28日(土) 10:00~12:00

8月25日(土) 10:00~12:00

要予約

編集後記:災害に対する備えの重要性を再認識しました。とみ

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商ビル4階)

TEL:0952-40-7700 FAX:0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日